

宛先

# ニューズレター

低平地研究会 (LORA), 国際低平地研究協会 (IALT)

No. 90

<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/lora/index.html>

<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/ialt/index.html>

平成29(2017)年11月9日

## 学生による建築・地区デザイン展示・発表

### 「門前に集まって住む」

2017年8月8日(火)16:00-17:30に、ON THE ROOF (佐賀市呉服元町)にて、学生を含む75名の参加と盛況でした。展示・発表の内容は、佐賀市松原神社の門前地区(新馬場通り両側、9,600㎡)を対象とした佐賀大学理工学部都市工学科3年生の演習課題の成果です。グループで町の将来を考え、敷地を分割、各自が都市的機能を含む中低層集合住宅のデザイン提案に取り組み、それらを6グループ(1グループ6名、全36作品)の図面と模型をもとに公開しました。



地区の将来として、門前のビスタを活かしたデザイン、ひろばや路地の施設内貫入、あるいは、高齢者と一人親世帯が集住、外国人主体の町など、グループごとに建築群として具現化した将来像が提案されました。町中での発表したことで、まちづくり関係者などを交えて多様な質疑応答があり、学生には貴重な経験であり、合わせて複数の町の可能性を現場で議論できました。

今回、「ON THE ROOF」さまのご厚意で会場をご提供いただきました。改装途上の広い空間は発表・展示に絶好であり、当該施設のようなまちの新たな仕事や集いの場にて開催できましたこと、記してお礼申し上げます。

(都市空間専門部会 後藤隆太郎)



## 都市空間専門部会

### 「環アジア国際セミナー2017」開催報告

7月15日～22日にかけて、(一社)日本建築学会九州支部佐賀支所主催により佐賀大学および鹿島市肥前浜宿において環アジア国際セミナー2017を開催しました。2014年から継続的に開催しており、本年度は4回目の開催となりました。タマサート大学(9名・タイ)、チェンマイ大学(9名・タイ)、タンリン工科大学(6名・ミャンマー)、カザフ高等建築アカデミー(7名・カザフスタン)、ウィーン工科大学(9名・オーストリア)、佐賀大学(25名)の合計65名が参加しました。



「次世代の文化的資源の保全活用」というテーマのもと、肥前浜宿の地元住民や鹿島市の多大なる協力を得て、茅葺町家などに民泊して実施されました。今回は関連事業として「次世代の文化的資源活用まちづくり」シンポジウムを開催し、鯨坂徹氏(建築家・鹿児島大学教授)・古田清悟氏(映像プロデューサー・ハイブリッドファクトリー/嬉野創生機構)をお招きし、活発な意見交換を行いました。今後のグローバル社会に対応すべく文化的背景の異なる学生間の外国語によるコミュニケーション能力・プレゼンテーションスキル・リーダーシップ能力などの向上に資する有意義な機会となったのではないかと思います。



## 世界の低平地

### ～ベトナムの低平地における水環境～

環境専門部会の「世界の低平地」シリーズの第3回講演会、「ベトナムの低平地における水環境 (Water Environment of the Lowland in Vietnam)」が平成29年9月27日(水)に開催されました。チュイロイ大学水資源工学部の准教授である Dr. Nguyen Cao Don をお招きしました。



メコンデルタの低平地における水環境、そして気候変動及び経済活動による水害や塩水化の問題と必要な対策について紹介していただきました。国際河川であるメコン川には水利用の利害関係があり、ベトナム国内のみで解決できない水問題も存在しているため、改めて総合水資源管理の必要性を実感しました。国際低平地研究協会(IALT)の会員、低平地研究会の会員及びカセサート大学の関係者から合計22名が出席しました。質疑タイムでは参加者によりメコンデルタにおける水問題について活発な議論・意見交換がなされました。今後も世界の低平地をテーマにした講演会を予定していますので是非ご参加ください。



### 国際低平地研究協会 Council Meeting 報告

9月26日(火)に佐賀大学理工学部3号館にて、国際低平地研究協会(IALT)のCouncil Meetingがマダフ会長を始めとして、インド、インドネシア、タイ、中国、ベトナムの各国からの委員が参加して開催されました。

会議では、定例議題として2016年の活動および決算報告、2017年の活動および予算計画、会員動向や英語論文集の「Lowland Technology International (LTI)」の出版と計画、来年の開催を予定している「低平地技術に関する国際シンポジウム (ISLT2018 ベトナム)」の実施体制などについて議論され、承認されました。また、IALTの運営体制の見直しと、それによる効果的な活動の実施、LTIの評価向上へ向け取り組みなどについて意見が交わされました。



### 訃報:佐賀大学名誉教授 林重徳先生

佐賀大学名誉教授 林重徳先生が10月18日(水)にご逝去されました。林先生は平成6年4月に九州大学より赴任され、本学では特に、有明海の環境再生研究をはじめとした低平地の地圏環境に関する研究・教育にご尽力されました。低平地研究会では、地盤専門部会長、平成13年5月から平成28年4月には運営委員を、国際低平地研究協会では実行会長(平成18年9月～平成22年9月)を務められ、長きにわたり低平地研究会の活動や低平地の土木・地盤技術の発展にご尽力されました。佐賀大学を定年退職後も引き続き有明海の再生に向けた研究活動や、各種審議会委員長などを務めるなど、多方面でご活躍されていました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 会員 特別会員 動向

### 九州技術開発株式会社

九州技術開発株式会社は、昭和46年に創立以来、社会資本整備のための調査・測量・設計・補償コンサルタント等の業務に従事して参りました。建設コンサルタンツ協会九州支部及び佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会に加盟し、技術力および品質の確保・向上に努めてきているところであります。これからも、地元企業として地域の社会資本整備に貢献していきたいと考えています。



### L T I ジャーナル Vol. 19、No. 2 の発行

英文機関紙「Lowland Technology International」Vol.19、No.2が発行され、7編の論文が掲載されています。

| タイトル   | 著者   |
|--|--|
| Laterally loaded piles in multi-layered soils  | M. Cao   |
| Settlement-time curve calculation of soil-cement column and slab improved soft clay deposit                                      | S. Pongsivasathit, P. Voottipruex and J.C. Chai                        |
| Methods for delineating the land leveling range in land consolidation and rehabilitation projects                                | D.J. Zhang, S.P. Yuan, W. Peng and F.F. Yu                             |
| Color research of rural tourism destination based on chromatographic analysis: A lowland case study of Hangzhou Meijiawu Village | X.M. Zhao, J.W. Lin, Y.X. Lei, Y. Chen, J.R. Shi, Z. Wang and K. Hokao |
| Study of domestic wastewater (Greywater) in the district of Tamalanrea the city of Makassar                                      | R. Ibrahim   |
| Land-use and road development pattern of downtown makassar since 19th century until now  | A. Akil  |
| Correlations of SPT and DCPT data for sandy soils in Ghana   | K.O. Opuni, S.O. Nyako, B. Ofosu, F.A. Mensah and K. Sarpong           |

### 編集後記

今回ニューズレターの発行が遅れてしまい申し訳ありませんでした。活動は今後も活発に行われるので、今後ともよろしくお祈りします。(森田)。

編集：森田 (佐大:ss5263@cc.saga-u.ac.jp)、江頭

-お問い合わせ-

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1  
佐賀大学低平地沿岸海域研究センター